



159の画像を拝見しつつ、今の時代に合ったボディスタイル、シフトアップ口が手掛けたボディを太田氏はどう料理するのか？



159の印象はこれまでのGTなどとは違い、ドイム車的な作りになったという。アルファらしさを演出したいと言う。

【連載】Vol.27

# TEAM KEEP ON RACING & TEZZO GTに続く素材は159に決定！

これまで長きに渡って開発が続けられてきた、TEZZO第一弾となるアルファGTが先日ようやく完成したばかりだが、早くも第二弾の素材が決定した。今月からアルファ159をベースに、TEZZO仕様を仕上げていく。



今週素材となるクルマは159の2.2 JTDとセレスピンド。Eキープネスのサスペンションも満足している。太田さんは、手始めにマフラーから着手する予定。心機を一から整えるアルファサウンドをどう再現するのだろうか。

「最初に排気音を何とかしたい。アルファ独特のエンジンの鼓動や音がなくなってしまうから。例えば、レクサスの開発を参考にするのだから。」

「……では、具体的にどういふ方向性での開発を考へたいのか？」

「最初には排気音を何とかしたい。アルファ独特のエンジンの鼓動や音がなくなってしまうから。例えば、レクサスの開発を参考にするのだから。」

「単純にスポーツではないし、ましてスパルタンズレベルの方向性でもない。乗っていて快適、フワフワするようなクルマ。アルファ本来の魅力はそこにあると思う。それを増強させる狙いだね。キヤッチコピは、"エクワイブ"だね。」

「……では、具体的にどういふ方向性での開発を考へたいのか？」

「最初には排気音を何とかしたい。アルファ独特のエンジンの鼓動や音がなくなってしまうから。例えば、レクサスの開発を参考にするのだから。」

「159は一回り大きくなってきたが、デザインは旧アルファのイメージを踏襲している。でも、実際に乗ると大きな違いがあるよ。太田さんは、旧アルファをタウンスピードではキビシイ印象をくれたけど、姿勢安定性が随分追い込んだ領域では、わりとだらしない曲がらなくなってしまう、と書いていたはず。」

「そう、だからTEZZOレイアウトはスキッドでは、乗り心地はリアルよりよく、でもコーナーでは逆のアブリックを作った。でも159は逆のアブリックが、ロール制御はそのままで、もっとしっとりした乗り味じゃない。でも、攻めたときにはたまたまアンダーを出すこともない、という方向性かな。」

「ずばり、テーマはスポーツ？」

「単純にスポーツではないし、ましてスパルタンズレベルの方向性でもない。乗っていて快適、フワフワするようなクルマ。アルファ本来の魅力はそこにあると思う。それを増強させる狙いだね。キヤッチコピは、"エクワイブ"だね。」

「……では、具体的にどういふ方向性での開発を考へたいのか？」

「最初には排気音を何とかしたい。アルファ独特のエンジンの鼓動や音がなくなってしまうから。例えば、レクサスの開発を参考にするのだから。」

「TEZZOアルファGTはともに入っている。自分の理想のクルマを作ったわけだから当たり前だよ(笑)毎日9時でも楽しく乗ってるよ。でも、159はアルファの赤を揃ってメイカーストリームモデルだから大田さん(太田)では、大田さんから見たら159は、どう映っているのだろうか。」

「159、147、GTと続いてきた流れ」

「から、ガリリと様子が変わった。新たにドイム車のテイストが加わり、性能や品質はぐっと上がったけど、アルファがこれまで持っていたあの心地よさが薄まってしまった面は否めないな。」

エンジンや排気音については、確かに旧アルファ派からは多少の違和感はあるだろう。それ以外に、

「くた一つとした音は残っていて、ドイム車のような硬さを伴った乗り味になった。姿勢安定性が落ちて、コーナーではロールにくくなっちゃった。それに音や排気音も、静かだから快楽主義的ではなくなったけど、ラジアンリィさは増したな。」

159は一回り大きくなってきたが、デザインは旧アルファのイメージを踏襲している。でも、実際に乗ると大きな違いがあるよ。太田さんは、旧アルファをタウンスピードではキビシイ印象をくれたけど、姿勢安定性が随分追い込んだ領域では、わりとだらしない曲がらなくなってしまう、と書いていたはず。」

「そう、だからTEZZOレイアウトはスキッドでは、乗り心地はリアルよりよく、でもコーナーでは逆のアブリックを作った。でも159は逆のアブリックが、ロール制御はそのままで、もっとしっとりした乗り味じゃない。でも、攻めたときにはたまたまアンダーを出すこともない、という方向性かな。」

「ずばり、テーマはスポーツ？」

「単純にスポーツではないし、ましてスパルタンズレベルの方向性でもない。乗っていて快適、フワフワするようなクルマ。アルファ本来の魅力はそこにあると思う。それを増強させる狙いだね。キヤッチコピは、"エクワイブ"だね。」

「……では、具体的にどういふ方向性での開発を考へたいのか？」

「最初には排気音を何とかしたい。アルファ独特のエンジンの鼓動や音がなくなってしまうから。例えば、レクサスの開発を参考にするのだから。」

「究極のストライプを目指すとTEZZOの仕様レポーターとしてきたこのコーナー。TEZZO ALFA GTがほぼ完了し、今度はいよいよ159の後継モデルとなる新型の159に着手することになった。」

「そもそも太田さんという人は、GTのイメージが強かったのだが、新たに159を選んだ理由は？」

「TEZZOアルファGTはともに入っている。自分の理想のクルマを作ったわけだから当たり前だよ(笑)毎日9時でも楽しく乗ってるよ。でも、159はアルファの赤を揃ってメイカーストリームモデルだから大田さん(太田)では、大田さんから見たら159は、どう映っているのだろうか。」

「159、147、GTと続いてきた流れ」



**チェッカーモータースとTEZZOがコラボ**

今回、TEZZO159コンプリートカーを開発していくにあたり、フィアットグループの正規ディーラーであるチェッカーモータースとTEZZOのコラボレートが実現。というのも、開発車となる159はチェッカーモータースから提供されることになったのだ。藤沼真介代表取締役から太田さんに159の鍵が手渡された。今後はチェッカーモータースでもウエブ上でのプロダクト開発や、店舗でのデモカー設置など様々な企画を予定している。こちらのコラボ企画も要チェック！

<http://www.checker-motors/>